

シンポジウム『宇宙の平和利用と石川の産業』

日時：2013年10月9日 / 午後5時～午後6時30分

場所：石川県政記念しいのき迎賓館3階 セミナールームB

主催：金沢美術工芸大学

入場：無料

石川県内には日本の宇宙開発に貢献する製造業の企業が複数あります。これらの企業で製造された部品は、主力ロケットや、科学衛星を打ち上げる発射場、人工衛星に使用されています。実は、これらの企業は日本の宇宙産業を担うだけでなく、文化を育む活動に貢献し、芸術活動を助けています。本シンポジウムでは石川県の企業と宇宙開発との関わりや、宇宙開発の歴史における文化・人文社会科学的活動（人工衛星の芸術利用や大学衛星開発プロジェクト等）の具体例を紹介し、石川県の産業が宇宙の平和利用を支えている事実を広く知ってもらうとともに、宇宙の平和利用のもつさまざまな可能性について考えていきたいと思えます。なお、本シンポジウムの成果を踏まえて、来年度には本テーマの連続講座の開講を予定しております。

<パネリスト>

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 筑波宇宙センター 特任参与 辻畑昭夫氏

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 地球観測研究センター 開発員 大木真人氏

多摩美術大学 情報デザイン学科メディア芸術コース 准教授 森脇裕之氏

<モデレーター>

金沢美術工芸大学 美術科油画専攻 准教授 鈴木浩之



©JAXA

*本シンポジウムは、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組「学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築」の一環として行われるものです。

お問い合わせ：金沢美術工芸大学 鈴木浩之 h-suzuki@kanazawa-bidai.ac.jp